

「学部・学科によって、修了要件は相違する」場合は、本シートを複製の上＜様式1-0＞と枝番号を付してく 様式1

大学等名	四天王寺大学
プログラム名	IBU数理・データサイエンス・AI教育プログラム

プログラムを構成する授業科目について

① 対象となる学部・学科名称 ② 教育プログラムの修了要件 学部・学科によって、修了要件は相違しない

③ 修了要件

プログラムを構成する全学共通の「共通教育科目「情報処理演習Ⅰ」(2単位)及び「情報処理演習Ⅱ」(2単位)の合計4単位を修得すること。

必要最低単位数 4 単位 履修必須の有無 令和8年度以降に履修必須とする計画、又は未定

④ 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-6	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
情報処理演習Ⅰ	2	○	○	○					
情報処理演習Ⅱ	2	○		○					

⑤ 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-2	1-3	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
情報処理演習Ⅰ	2	○	○						
情報処理演習Ⅱ	2	○		○					

⑥ 「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-4	1-5	授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
情報処理演習Ⅰ	2	○	○	○					

⑦ 「活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティ

ティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	3-1	3-2	授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
情報処理演習 I	2	○	○	○					
情報処理演習 II	2	○							

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
情報処理演習 I	2	○	○	○	○						
情報処理演習 II	2	○			○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目
情報処理演習 I	4-1統計および数理基礎		
情報処理演習 II	4-2アルゴリズム基礎		
情報処理演習 II	4-3データ構造とプログラミング基礎		

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素	講義内容
(1) 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1 ビッグデータ、AI、Society 5.0、データ駆動型社会、データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方「情報処理演習I」(8回目)
	1-6 AI等を活用した新しいビジネスモデル(商品のレコメンデーションなど)「情報処理演習I」(14回目) AI最新技術の活用例(強化学習)「情報処理演習II」(7回目)
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲	1-2 調査データ、実験データ、人の行動ログデータ、構造化データ、非構造化データ、データのオープン化(オープンデータ)「情報処理演習 I」(8回目)

<p>であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの</p>	<p>1-3</p>	<p>データ・AI活用領域の広がり「情報処理演習II」(7回目) 仮説検証、知識発見、原因究明「情報処理演習II」(9～12回目)</p>
<p>(3)様々なデータ活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの</p>	<p>1-4</p>	<p>データ解析: 予測、グルーピング、パターン発見、データ可視化: 複合グラフ、2軸グラフ、関係性の可視化「情報処理演習 I」(7～11回目)</p>
	<p>1-5</p>	<p>データサイエンスのサイクル(課題抽出と定式化、データの取得・管理・加工、データ解析と推論、結果の共有・伝達、課題解決に向けた提案)「情報処理演習 I」(10～11回目)</p>
<p>(4)活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする</p>	<p>3-1</p>	<p>データ倫理: データの捏造、改ざん、盗用、プライバシー保護「情報処理演習I」(3回目) データ・AI活用における負の事例紹介「情報処理演習 I」(10～11回目)</p>
	<p>3-2</p>	<p>匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取、情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介「情報処理演習I」(3回目)</p>
<p>(5)実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの</p>	<p>2-1</p>	<p>データの種類(量的変数、質的変数)、データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)、代表値の性質の違い(実社会では平均値＝最頻値でないことが多い)、データのばらつき(分散、標準偏差、偏差値)、相関と因果(相関係数、擬似相関、交絡)、母集団と標本抽出(アンケート調査)、クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列、統計情報の正しい理解(誇張表現に惑わされない)「情報処理演習 I」(8～12回目)</p>
	<p>2-2</p>	<p>データ表現(棒グラフ、折線グラフ、散布図)、データの比較、不適切なグラフ表現(チャートジャンク、不必要な視覚的要素)、優れた可視化事例の紹介(可視化することによって新たな気づきがあった事例など)「情報処理演習 I」(8～12回目)</p>
	<p>2-3</p>	<p>データの集計(和、平均)、データの並び替え、ランキング、表形式のデータ(csv)「情報処理演習 I」(8～12回目)、「情報処理演習II」(6、8～12回目)</p>

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

このプログラムを学修することによって、学生はデータを見る視点、分析に必要な着眼点を学び、実際に自らが分析するためのスキルを獲得すると共に、世の中は膨大なデータから得られた情報を基に問題解決を図りながら動いているということを学ぶ。この上で、文系、理系などの分野は関係なく、全ての業種・職種の人がデータ分析と無関係ではなく、そういった考え方を身につけることは重要であるという考え方を身につける。

授業コード	J0250-103				
開講学期	夏学期	授業区分	週間授業	曜日・時限	月曜1限
科目名	情報処理演習 I				
教員	間辺 広樹				
授業題目	情報機器の操作を学び、情報社会を生きる力を養う				
概要	情報リテラシーやモラルなど、情報社会の常識を学ぶとともに、文書作成を始めとするオフィスソフトや、情報を適切に処理し分析する能力、コンピュータ原理を学ぶためにプログラミングなどを、コンピュータを使った演習形式で学習する。				
到達目標	情報社会の常識やコンピュータの基本操作、ソフトウェアの操作などを学び、情報機器を効率的に活用できるようになる。				
授業計画	第1回 オリエンテーション、学内システム・ネットワークの使い方、パソコンの基本操作（マウス操作やタイピングなど） 第2回 ファイル操作、電子メール、情報の検索、問題解決 第3回 SNSとの付き合い方（情報モラル）や情報セキュリティ 第4回 文書作成の基本 第5回 レポート作成（情報の文書化や著作権など、情報デザイン） 第6回 レポート作成（文書の体裁を整える） 第7回 表の作成とグラフ化、比較 第8回 Web上のオープンデータの処理・分析 第9回 データサイエンスの基礎（代表値など） 第10回 データの読み方、仮説と検証（相関と因果など） 第11回 データ分析と情報の表現 第12回 スライド作成とプレゼン動画制作 第13回 プログラミングの基本（タートルグラフィックスによる図形描画） 第14回 プログラミングによるAI体験 第15回 まとめ（プレゼン動画発表会）				
学外教育活動予定 （日程、行先、内容等）					
目標達成のための 授業方法・履修上の 注意事項	充電したノートPCを持参すること。 動画の視聴を指示した場合には、その動画を視聴していることを前提で行うので、事前にしっかり取り組むこと。 内容については、講義内でも補足説明を行う。 細かな点については1回目の授業で説明するので、担当者の指示に従うこと。 授業内容ごとに小テスト・レポート等を実施するので、指示に従うこと。 小テスト等の回答例は配布するので、各自振り返りに活用して知識の定着を図ること。				
授業時間外に必要な 学習	適宜配信する動画の視聴（予習30分） 授業課題への取り組み（復習30分）				
授業形態	演習				
テキスト （授業において使用する書籍等）	授業回ごとに資料を配布する				
参考文献 （学修をさらに進めるために役立つ書籍等）	イチからしっかり学ぶ！Office基礎と情報モラル noa出版 1,525円				
成績評価の方法	提出物40%、小テスト（レポート）40%、平常点20%				
実習材料費等					
アクティブラーニングを行っている					
ペアワーク		グループワーク		プレゼンテーション	ディスカッション
ロールプレイ		ワークシート		双方向型学習 ICT等	発見学習
問題解決型学習（外部機関）		実験・実技		実習	フィールドワーク
反転授業	○				
その他					

学生・教員ともICTを活用（双方向）	○	教員のみICTを活用		学生のみICTを活用	
PC	○	タブレット端末		電子黒板	
				クリッカー	
スマートフォン	○				
その他					
ループリックを採用している	○	プレゼンテーション作成課題の評価に使用			
15回全て外国語のみで授業を行っている（外国語教育を主たる目的とする科目は除く）					
実務経験		職業等			
※卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連（卒業時点において学生が身につけるべき能力）についての詳細は履修要覧を参照の上、確認してください					

授業コード	X0190-209						
開講学期	冬学期	授業区分	週間授業	曜日・時限	月曜3限		
科目名	情報処理演習 I I						
教員	間辺 広樹						
授業題目	目的に応じてコンピュータを適切に活用する力を養う						
概要	目的に応じたソフトウェアを活用しながら、コンピュータ科学や情報システム、動画編集などを学習する。また、プログラミングやデータの分析・活用について、プログラミングなどを交えながら演習形式で学習する。						
到達目標	ソフトウェアの活用法やプログラミングを学ぶことで、問題や状況に応じて適切な手法やソフトウェアを選択し、解決できるようになる。						
授業計画	第1回 オリエンテーション、スマホセンサを活用するゲーム開発 第2回 プログラミングによる音楽演奏 第3回 Pythonによるプログラミング（入出力） 第4回 Pythonによるプログラミング（分岐構造） 第5回 Pythonによるプログラミング（反復構造） 第6回 プログラミングによるデータ処理 第7回 AIの活用（顔認識プログラムの作成） 第8回 データサイエンスの応用（検定、クラスタリング、時系列分析など） 第9回 データサイエンスの実践（仮説と議論） 第10回 データサイエンスの実践（データの収集） 第11回 データサイエンスの実践（可視化と分析） 第12回 プレゼン資料作成と動画制作 第13回 動画編集ソフトウェアの活用 第14回 プレゼン動画の発表会 第15回 まとめ						
学外教育活動予定 （日程、行先、内容等）							
目標達成のための 授業方法・履修上の 注意事項	充電したノートPCを持参すること。 プログラミングの回では、大阪電気通信大学・明星大学・東京農工大学が開発しているプログラミング学習環境を活用する。 動画の視聴を指示した場合には、その動画を視聴していることを前提で行うので、事前にしっかり取り組むこと。 内容については、講義内でも補足説明を行う。 細かな点については1回目の授業で説明するので、担当者の指示に従うこと。 授業内容ごとに小テスト・レポート等を実施するので、指示に従うこと。 小テスト等の回答例は配布するので、各自振り返りに活用して知識の定着を図ること。						
授業時間外に必要な 学習	適宜配信する動画の視聴（予習30分） 授業課題への取り組み（復習30分）						
授業形態	演習						
テキスト （授業において使用する書籍等）	動画配信やプリント配布で対応する						
参考文献 （学修をさらに進めるために役立つ書籍等）	講義中、適宜指示する						
成績評価の方法	提出物40%、小テスト（レポート）40%、平常点20%						
実習材料費等							
アクティブラーニングを行っている							
ペアワーク		グループワーク	○	プレゼンテーション	○	ディスカッション	○
ロールプレイ		ワークシート		双方向型学習 ICT等	○	発見学習	
問題解決型学習（外部機関）		実験・実技		実習		フィールドワーク	
反転授業	○						

その他			
学生・教員ともICTを活用（双方向）	○	教員のみICTを活用	学生のみICTを活用
PC	○	タブレット端末	電子黒板
			クリッカー
			スマートフォン
その他			
ループリックを採用している	○	動画編集課題の評価に使用	
15回全て外国語のみで授業を行っている（外国語教育を主たる目的とする科目は除く）			
実務経験		職業等	
※卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連（卒業時点において学生が身につけるべき能力）についての詳細は履修要覧を参照の上、確認してください			

●共通教育科目編成表 (人文社会学部・教育学部・経営学部)

単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.187～で調べて履修すること。

種別	授業概要コード	科目名	単位数		科目担当教員	配当セメスター	開講学期	身につけるべき能力			ナンバリングコード	備考	
			必修	選択				①	②	③			
学びの基礎	J0100	大学基礎演習Ⅰ	2		P.68 参照	1~2	S	○	◎		CABA1001a1		
	J0105	大学基礎演習Ⅱ	2		P.68 参照	1~2	W	○	◎		CABA2002a1		
		基礎文書作成		2		3~4			◎			CABA1003a1	
	J0115	小論文作成法		2	矢羽野	1~2	W	◎				CABA1004a1 ZZZZ1004a1	留学生用
	J0120	日本のビジネスマナーと文書		2	上田(知)	1~2	W	◎				CABA1005a1 ZZZZ1005a1	留学生用
	J0125	日中翻訳の理論と実践		2	大西(紀)	1~2	W	◎				CABA1006a1 ZZZZ1006a1	留学生用
		共通教育特殊講義(注1)		2									
こころと思想		仏教実践演習		2		3~4		○	◎			CABB2007a1	
		聖徳太子概説		2		3~4		○	◎			CABB2008a1	
	J0195	心理学Ⅰ		2	崎田・中村(隆)・外尾	1~2	S	◎				CABB1009a1	社会・人福履修不可
	J0200	心理学Ⅱ		2	崎田・田中(秀)・外尾	1~2	W	◎				CABB2010a1	
	J0205	哲学入門		2	上田(章)・竹中	1~2	S/W	◎				CABB1011a1	社会学履修不可
	J0210	現代思想入門		2	加藤(彰)	1~2	S	◎				CABB1012a1	
		構造主義入門		2		3~4			◎			CABB1013a1	
	現代社会と仏教		2		3~4			◎			CABC1014a1		
社会と文化	J0225	日本国憲法		②	伊井・宇佐美(和)	1~2	S/W	◎				CABC1015a1	教免必修
	J0230	法学入門		2	森(暁)	1~2	S/W	◎				CABC1016a1	[社会]「公民」免許希望者は履修不可
	J0235	政治学		②	奥西	1~2	S	◎				CABC1017a1	
		仏教芸術入門		2		3~4			◎			CABC2018a1	
	J0245	現代日本の文化と社会		2	相原	1~2	W	◎				CABC1019a1	
	J0250	情報処理演習Ⅰ	2		② 斎藤(敏)・本多(佑)・間辺	1~2	S/W	◎					CABD1020a1
J0255	情報処理演習Ⅱ	② 本多(佑)・間辺			1~2	W	◎					CABD2021a1	
情報と自然科学		プログラミング		2		3~4			◎			CABD2022a1	
		情報システム		2		3~4			◎			CABD2023a1	
		データ収集分析		2		3~4			◎			CABD2024a1	
	J0275	生命の科学		2	塩田・都留	1~2	S/W	◎				CABD1025a1	
	J0280	環境の科学		2	都留	1~2	W	◎				CABD1026a1	
	J0286	先端技術		2	新井・木原	1~2	S	◎				CABD1027a1	集中講義
	J0290	スポーツⅠ		①	岡部・越智・樫・佐藤(光)・小寺・水流・野中(耕)・森(貴)・安井・山下(新)	1~2	S	◎				CABE1028a1	ⅠとⅡは教免必修 Ⅰは保育士必修
J0295	スポーツⅡ		①	岡部・越智・樫・佐藤(光)・水流・野中(耕)・三浦・安井・山下(新)	1~2	W	◎				CABE2029a1		
J0300	体育講義		2	今野	1~2	W	◎				CABE1030a1	保育士必修 教幼以外履修不可	
J0305	社会福祉概論		2	姜・番匠谷	1~2	S/W	◎	○			CABE1031a1		
J0310	社会福祉行政		2	鎌谷・寺中	1~2	S/W	◎	○			CABE1032a1		
	児童福祉論		2		3~4			◎	○			CABE1033a1	人福・教幼履修不可
健康と福祉	J0320	老人福祉論		2	武田(盛)・玉置(好)	1~2	S/W	◎	○			CABE1034a1	
	J0325	障害者福祉		2	大西(敏)	1~2	W	◎	○			CABE1035a1	人福履修不可



●共通教育科目編成表 (人文社会学部・教育学部・経営学部)

単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.187～で調べて履修すること。

種別	授業概要コード	科目名	単位数		科目担当教員	配当セメスター	開講学期	身につけるべき能力			ナンバリングコード	備考
			必修	選択				①	②	③		
健康と福祉	J0330	レクリエーション論		2	奥野	1~2	S	◎	○		CABE1036a1	人福以外履修不可
	J0335	手話コミュニケーション		2	佐野	1~2	S/W	◎	○		CABE1037a1	
言語	J0340	英語 I	① (注2)		Oickle・Koby・齊藤(雅)・齊藤(裕)・高橋(樹)・Duggan・竹ノ内・Pellet・古澤・孫工・Lee・榎葉・羽尾・Jones・Danker・若林	1~2	S	○			CABF1038a1	教免・保育士必修 (国際キャリア学科は除く)
	J0345	英語 II	① (注2)		Oickle・Koby・齊藤(雅)・齊藤(裕)・高橋(樹)・Duggan・竹ノ内・Pellet・古澤・孫工・Lee	1~2	W	○			CABF1039a1	
		英語 III		1		3~4		○			CABF2040a1	
		英語 IV		1		3~4		○			CABF2041a1	
		上級英語 I		1		3~4		○			CABF2042a1	
		上級英語 II		1		3~4		○			CABF2043a1	
	J0370	ドイツ語 I		1	飯田・塩見・柴・菅野	1~2	S	○			CABF1044a1	
	J0375	ドイツ語 II		1	飯田・塩見・柴・菅野	1~2	W	○			CABF1045a1	
	J0380	フランス語 I		1	加藤(彰)・上田(章)・岡田(純)・竹中・Pellet	1~2	S	○			CABF1046a1	
	J0385	フランス語 II		1	加藤(彰)・上田(章)・岡田(純)・竹中・Pellet	1~2	W	○			CABF1047a1	
	J0390	中国語 I		1	大西(紀)・張・陳・鳥羽・白・畑(忍)・潘・三鬼・山上・李・劉	1~2	S	○			CABF1048a1	
	J0395	中国語 II		1	大西(紀)・張・陳・鳥羽・白・畑(忍)・潘・三鬼・山上・李・劉	1~2	W	○			CABF1049a1	
	J0400	日本手話 I		1	馬場	1~2	S	○			CABF1050a1	
	J0405	日本手話 II		1	馬場	1~2	W	○			CABF1051a1	
	J0410	日本語 I		1	麻生	1~2	S	○			CABF1052b1	
	J0415	日本語 II		1	麻生	1~2	W	○			CABF1053b1	
		ドイツ語 III		1		3~4		○			CABF2054a1	
		ドイツ語 IV		1		3~4		○			CABF2055a1	
		フランス語 III		1		3~4		○			CABF2056a1	
		フランス語 IV		1		3~4		○			CABF2057a1	
	中国語 III		1		3~4		○			CABF2058a1		
	中国語 IV		1		3~4		○			CABF2059a1		
	コリア語 I		1		3~4		○			CABF1060a1		
	コリア語 II		1		3~4		○			CABF1061a1		
	日本手話 III		1 (注4)		3~4		○			CABF2062a1		
	日本手話 IV		1 (注4)		3~4		○			CABF2063a1		
	日本語 III		1 (注4)		3~4		○			CABF2064b1		
	日本語 IV		1 (注4)		3~4		○			CABF2065b1		
キャリア教育	J0480	キャリアデザイン I	2 (注5)		植前・岡井・小幡・木村(早)・黒野・庄司(美)	1~2	S	◎			CABG1066a1	人福以外履修不可
	J0485	キャリアデザイン II		2	小幡・木村(早)	1~2	W	◎			CABG2067a1	
	J0490	数学演習 I		2	矢野(祥)	1~2	S	◎			CABG1068a1	
		数学演習 II		2		1~2	R4年度開講せず	◎			CABG1069a1	
		キャリアアップ数学		2		5~6		◎			CABG2070a1	
	J0505	文章表現基礎		2	服部	1~2	W	◎			CABG1071a1	

●共通教育科目編成表（人文社会学部・教育学部・経営学部）

単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.187～で調べて履修すること。

種別	授業概要コード	科目名	単位数		科目担当教員	配当セメスター	開講学期	身につけるべき能力			ナンバリングコード	備考		
			必修	選択				①	②	③				
共通教育科目	キャリア教育	キャリア・プロジェクト研究 <sup>(注1)</sup>		2										
		J0565 地域活性化概論		2	天野・伊藤(重)・木村(三)・隅田・津崎・吉田(祐)	1~2	S	◎	○		CABG1072a1			
	知識・技能	知識・技能研究Ⅰ		2								CABH1073a1		
		知識・技能研究Ⅱ		2								CABH1074a1		
	学外研修		国内実地研修Ⅰ		1 <small>(注6)</small>		1~2	S/W					CABI1075a1	
			国内実地研修Ⅱ		1 <small>(注6)</small>		1~2	S/W					CABI1076a1	
			海外実地研修		2 <small>(注7)</small>		1~2	S/W					CABI1077a1	
		J0648	海外語学研修Ⅰ		2 <small>(注8)</small>	宮脇	1~2	S/W					CABI1078a1	
			海外語学研修Ⅱ		2 <small>(注8)</small>		1~2	S/W					CABI1079a1	
			海外語学研修Ⅲ		2 <small>(注8)</small>		1~2	S/W					CABI2080a1	
			海外語学研修Ⅳ		2 <small>(注8)</small>		1~2	S/W					CABI2081a1	
			中国語学研修Ⅰ		2 <small>(注8)</small>		1~2	W					CABI1082a1	
			中国語学研修Ⅱ		2 <small>(注8)</small>		1~2	W					CABI1083a1	
			中国語学研修Ⅲ		2 <small>(注8)</small>		1~2	W					CABI2084a1	
	中国語学研修Ⅳ		2 <small>(注8)</small>		1~2	W					CABI2085a1			
卒業に必要な最低修得単位数														
人文社会学部日本学科			14	16			合計 30 単位							
人文社会学部国際キャリア学科			10	22			合計 32 単位							
人文社会学部社会学科、人間福祉学科			14	16			合計 30 単位							
教育学部教育学科			12	8			合計 20 単位							
経営学部経営学科			14	18			合計 32 単位							

- (注1) 各授業科目に関連した内容の科目を題目科目として設置し、それぞれ2単位付与する。  
 (注2) 人文社会学部国際キャリア学科は英語を除く。英語Ⅲ・Ⅳ、もしくは上級英語Ⅰ・Ⅱの組合せで選択し、2単位修得。  
 (注3) 同一言語を選択し2単位修得。但し、日本語を母語としない者は日本語Ⅰ・Ⅱを履修できる。  
 また、日本語Ⅰ・Ⅱは人間福祉学科のみ履修できる。  
 (注4) 日本語を母語としない者は日本語Ⅲ・Ⅳを履修できる。また、日本語Ⅲ・Ⅳは人間福祉学科のみ履修できる。  
 (注5) 教育学部教育学科はキャリアデザインⅠを選択科目とする。  
 (注6) 国内実地研修の単位については、別に定める規定に基づき運用する。  
 (注7) 海外実地研修の単位については、別に定める規定に基づき運用する。  
 (注8) 海外語学研修の単位については、別に定める規定に基づき運用する。

※上級英語Ⅰ・Ⅱは累積GPAが2.0以上でないと履修できない。

大学基礎演習Ⅰ 科目担当教員

日本学科	麻生・坂田・高橋(美)・田島・野中(拓)・森嶋
国際キャリア学科	上野(舞)・Kerrigan・柴田・山崎(英)
社会学科	上野(淳)・大関・四方・田中(誠)・津崎・平井
人間福祉学科	石田(晋)・上瀧・笠原・川下・坂本(光)・武田(盛)・鳥海・原(順)・平川
教育学科	生駒・小柴・杉中・長澤・原田(三)・船所・田辺・鳥越・吉田(祐)・岡崎・中田(實)・久保・松本(珠)
経営学科	浅野(公)・後藤・春名・福田(順)・天野・伊藤(重)・霍・加藤(彰)・木村(三)・隅田・富田(美)・東野・山崎(泉)

大学基礎演習Ⅱ 科目担当教員

日本学科	麻生・今田・坂田・戸田・野中(拓)・森嶋
国際キャリア学科	上野(舞)・深見・宮脇
社会学科	大関・田中(晶)・田中(誠)・田原・中村(洋)・三宅
人間福祉学科	石田(晋)・上瀧・笠原・川下・坂本(光)・武田(盛)・鳥海・原(順)・平川
教育学科	生駒・小柴・杉中・長澤・原田(三)・船所・田辺・鳥越・吉田(祐)・岡崎・中田(實)・久保・松本(珠)
経営学科	浅野(公)・後藤・春名・福田(順)・天野・伊藤(重)・霍・加藤(彰)・木村(三)・隅田・富田(美)・東野・山崎(泉)

## ●共通教育科目編成表（看護学部）

単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.187～で調べて履修すること。

種別	授業概要コード	科目名	単位数		科目担当教員	配当セメスター	開講学期	身につけるべき能力			ナンバリングコード	備考
			必修	選択				①	②	③		
生命と環境	J7550	生命の科学		2	塩田	1~2	W	◎			CACA1001a1	
	J7555	環境の科学		2	都留	1~2	W	◎			CACA1002a1	
	J7560	生物学	2		久保	1~2	S	◎			CACA1003a1	
		科学技術と社会		2		1~2	R4年度開講せず	◎			CACA1004a1	
こころと思想		仏教実践演習		2		3~4		○	◎		CACB2005a1	
		聖徳太子概説		2		3~4		○	◎		CACB2006a1	
	J7580	心理学Ⅰ		2	中村(隆)	1~2	S	◎			CACB1007a1	
	J7585	心理学Ⅱ		2	田中(秀)	1~2	W	◎			CACB2008a1	
	J7590	哲学入門		2	竹中	1~2	S	◎			CACB1009a1	
	J7595	現代思想入門		2	加藤(彰)	1~2	S	◎			CACB1010a1	
		構造主義入門		2		3~4		◎			CACB1011a1	
教養教育科目		現代社会と仏教		2		3~4		◎			CACC1012a1	
	J7610	日本国憲法		② ※1	宇佐美(和)	1~2	S	◎			CACC1013a1	教免必修
	J7615	法学入門		2	森(暁)	1~2	W	◎			CACC1014a1	
	J7620	政治学		2	奥西	1~2	S	◎			CACC1015a1	
		文化人類学		2		3~4		◎			CACC1016a1	
	J7630	ジェンダーの社会学		2	洪	1~2	S	◎			CACC1017a1	
		仏教芸術入門		2		3~4		◎			CACC2018a1	
	J7640	現代日本の文化と社会		2	相原	1~2	W	◎			CACC1019a1	
		地域活性化概論		2		3~4		◎	○		CACC1020a1	
	J7650	スポーツⅠ		① ※1	岡部・越智・森(貴)・山下(新)	1~2	S	◎			CACD1021a1	教免必修
J7655	スポーツⅡ		① ※1	岡部・越智・山下(新)	1~2	W	◎			CACD2022a1		
	体育講義		2		1~2	R4年度開講せず	◎			CACD1023a1		
J7665	社会福祉概論		2	姜	1~2	S	◎	○		CACD1024a1		
	社会福祉行政		2		3~4		◎	○		CACD1025a1		
J7675	児童福祉論		2	渡邊(慶)	1~2	W	◎	○		CACD1026a1		
	老人福祉論		2		3~4		◎	○		CACD1027a1		
	障害者福祉		2		3~4		◎	○		CACD1028a1		
	レクリエーション論		2		3~4		◎	○		CACD1029a1		
語学・情報科学	J7695	情報処理演習Ⅰ		② ※2	間辺	1~2	S	◎			CACE1030a1	教免はいずれか1科目必修
	J7700	情報処理演習Ⅱ		② ※2	本多(佑)・間辺	1~2	W	◎			CACE2031a1	
		情報システム		2		3~4		◎			CACE2032a1	
		データ収集分析		2		3~4		◎			CACE2033a1	
		情報社会の法と倫理(リテラシー含む)		2		3~4		◎	○		CACE1034a1	
		統計学	2			3~4		◎	○		CACE1035a1	
	J7726	先端技術		2	新井・木原	1~2	S	◎			CACE1036a1	集中講義

## ●共通教育科目編成表（看護学部）

単位数の○印は教免に関する科目。○印のうちどれが必要であるかは取得する免許の種類によって違うため、P.187～で調べて履修すること。

種別	授業概要コード	科目名	単位数		科目担当教員	配当セメスター	開講学期	身につけるべき能力			ナンバリングコード	備考
			必修	選択				①	②	③		
語学・情報科学科目 グローバルコミュニケーション	J7730	上級英語Ⅰ	①		齊藤(裕)・羽尾・孫工	1~2	S	○			CACF2037a1	} 教免必修
	J7735	上級英語Ⅱ	①		齊藤(裕)・羽尾・孫工	1~2	W	○			CACF2038a1	
		上級英語Ⅲ(医療英語)	1			3~4		◎		○	CACF2039a1	
		上級英語Ⅳ(英語論文読解)	1			3~4		◎		○	CACF2040a1	
	J7750	ドイツ語Ⅰ		1	塩見	1~2	S	○			CACF1041a1	
	J7755	ドイツ語Ⅱ		1	塩見	1~2	W	○			CACF1042a1	
	J7760	フランス語Ⅰ		1	岡田(純)	1~2	S	○			CACF1043a1	
	J7765	フランス語Ⅱ		1	岡田(純)	1~2	W	○			CACF1044a1	
	J7770	中国語Ⅰ		1	山上	1~2	S	○			CACF1045a1	
	J7775	中国語Ⅱ		1	山上	1~2	W	○			CACF1046a1	
	J7780	コリア語Ⅰ		1	関	1~2	S	○			CACF1047a1	
	J7785	コリア語Ⅱ		1	関	1~2	W	○			CACF1048a1	
卒業に必要な最低修得単位数												
看護学部看護学科			8	10	合計 18 単位							

1. 教養教育科目（必修科目 2 単位、選択科目 6 単位）  
語学・情報科学科目（必修科目 6 単位、選択科目 4 単位）
2. 養護教諭一種免許状取得には、(※ 1) の単位を修得と、(※ 2) のいずれかを修得すること。

○四天王寺大学・四天王寺大学大学院・四天王寺大学短期大学部高等教育推進センター規程  
(趣旨)

第1条 この規程は、[四天王寺大学学則第59条第1項第1号](#)、[四天王寺大学大学院学則第58条第1項第1号](#)及び[四天王寺大学短期大学部学則第57条第1項第1号](#)規定に基づき、高等教育推進センター(以下「センター」という。)に関し必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 センターは、四天王寺大学、四天王寺大学大学院および四天王寺大学短期大学部(以下「本学」という。)の学生の特性を踏まえ、学修意欲を引き出し自律的な活動を促すための教育内容・教育方法を開発し実践を支援するとともに、その継続的な改善を図ることにより、教育の質を向上させ本学教育の充実と発展に資することを目的とする。

(業務)

第3条 センターは、[前条](#)の目的を達成するため、次の業務を行う。

- (1) 基礎学力(リメディアル教育含む。)向上のための教育内容・教育方法の開発・実践支援及び普及に関すること
- (2) 情報教育(数理・データサイエンス・AI)の教育内容・教育方法の開発・実践支援及び普及に関すること
- (3) ICTを活用した教育方法の開発・実践支援に関すること
- (4) 上記の教育内容・教育方法の評価に関すること
- (5) 情報基盤の整備及び維持・管理に関すること
- (6) 学内の情報セキュリティーに関すること
- (7) その他センターの目的を達成するために必要な業務に関すること

(組織)

第4条 センターに、次に掲げる職員を置く。

(1) [四天王寺大学・四天王寺大学大学院・四天王寺大学短期大学部組織・分掌規程第13条第1項](#)の規定に定めるセンター長(以下「センター長」という。)及び[同条第6項](#)の規定に定める副センター長(以下「副センター長」という。)

(2) 専任の教員(以下「センター専任教員」という。)

(3) 兼務する教員

(4) その他学長が必要と認める教職員

(センター長)

第5条 センター長は、学長が指名する副学長又は本学の専任の教授をもって充てる。

2 センター長は、センターの業務を掌理する。

3 センター長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、センター長が任期の途中で欠員となった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(副センター長)

第6条 副センター長は、センター専任教員のうちからセンター長の意見を聴いて、学長が指名する。

2 副センター長は、センター長の職務を補佐する。

3 副センター長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、副センター長が任期の途中で欠員となった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(センター専任教員及び兼務する教員)

第7条 専任教員は、[第8条第1項](#)に定めるいずれかの部門に所属し、当該部門の業務を処理するとともに、センターの運営を補助する。

2 兼務する教員は、本学の専任教員のうちからセンター長が推薦し、学長が兼務を命ずる。

3 兼務する教員は、センター専任教員と協力し、センターの業務を処理する。

(部門)

第8条 [第2条](#)の目的を達成するため、センターに[次の各号](#)に掲げる部門を置く。

(1) 基礎教育部門

(2) 情報教育部門

2 部門に部門長を置き、本学の専任教員のうちからセンター長が指名する。

3 部門長は、所属する部門の業務を掌理するとともに、センター長の職務を補佐する。

4 その他部門に関し必要な事項は、センター長が別に定める。

(運営委員会)

第9条 センターに、センターの運営に関する事項を審議するため、高等教育推進センター運営委員会(以下「運営委員会」という。)を置く。

2 運営委員会は、[次の各号](#)に掲げる事項を審議する。

(1) センターの管理運営の基本方針に関する事項

(2) センターの業務に関する事項

(3) センターの予算・決算に関する事項

- (4) その他センターの運営に関し必要な事項
  - 3 運営委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。
    - (1) センター長
    - (2) 副センター長
    - (3) 部門長
    - (4) センター専任教員
    - (5) 兼務する教員のうち、センター長が必要と認める者
    - (6) 教務部長
    - (7) 教務部副部長
    - (8) その他運営委員会が必要と認める者
  - 4 運営委員会に委員長を置き、前項第1号の委員をもって充てる。
  - 5 委員長は、運営委員会を招集し、その議長となる。
  - 6 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代行する。
  - 7 運営委員会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。
  - 8 運営委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長が決する。
  - 9 運営委員会は、必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。  
(専門委員会)
- 第10条 運営委員会に、専門委員会を置くことができる。
- 2 専門委員会について必要な事項は、運営委員会が別に定める。  
(事務)
- 第11条 センターの事務は、高等教育推進課が処理する。  
(雑則)
- 第12条 この規程に定めるもののほか、センターに関し必要な事項は、センター長が別に定める。
- 附 則
- この規程は、令和3年4月1日から施行する。



○四天王寺大学・四天王寺大学大学院・四天王寺大学短期大学部高等教育推進センター規程  
(趣旨)

第1条 この規程は、[四天王寺大学学則第59条第1項第1号](#)、[四天王寺大学大学院学則第58条第1項第1号](#)及び[四天王寺大学短期大学部学則第57条第1項第1号](#)規定に基づき、高等教育推進センター(以下「センター」という。)に関し必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 センターは、四天王寺大学、四天王寺大学大学院および四天王寺大学短期大学部(以下「本学」という。)の学生の特性を踏まえ、学修意欲を引き出し自律的な活動を促すための教育内容・教育方法を開発し実践を支援するとともに、その継続的な改善を図ることにより、教育の質を向上させ本学教育の充実と発展に資することを目的とする。

(業務)

第3条 センターは、[前条](#)の目的を達成するため、次の業務を行う。

- (1) 基礎学力(リメディアル教育含む。)向上のための教育内容・教育方法の開発・実践支援及び普及に関すること
- (2) 情報教育(数理・データサイエンス・AI)の教育内容・教育方法の開発・実践支援及び普及に関すること
- (3) ICTを活用した教育方法の開発・実践支援に関すること
- (4) 上記の教育内容・教育方法の評価に関すること
- (5) 情報基盤の整備及び維持・管理に関すること
- (6) 学内の情報セキュリティーに関すること
- (7) その他センターの目的を達成するために必要な業務に関すること

(組織)

第4条 センターに、次に掲げる職員を置く。

(1) [四天王寺大学・四天王寺大学大学院・四天王寺大学短期大学部組織・分掌規程第13条第1項](#)の規定に定めるセンター長(以下「センター長」という。)及び[同条第6項](#)の規定に定める副センター長(以下「副センター長」という。)

(2) 専任の教員(以下「センター専任教員」という。)

(3) 兼務する教員

(4) その他学長が必要と認める教職員

(センター長)

第5条 センター長は、学長が指名する副学長又は本学の専任の教授をもって充てる。

2 センター長は、センターの業務を掌理する。

3 センター長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、センター長が任期の途中で欠員となった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(副センター長)

第6条 副センター長は、センター専任教員のうちからセンター長の意見を聴いて、学長が指名する。

2 副センター長は、センター長の職務を補佐する。

3 副センター長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、副センター長が任期の途中で欠員となった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(センター専任教員及び兼務する教員)

第7条 専任教員は、[第8条第1項](#)に定めるいずれかの部門に所属し、当該部門の業務を処理するとともに、センターの運営を補助する。

2 兼務する教員は、本学の専任教員のうちからセンター長が推薦し、学長が兼務を命ずる。

3 兼務する教員は、センター専任教員と協力し、センターの業務を処理する。

(部門)

第8条 [第2条](#)の目的を達成するため、センターに[次の各号](#)に掲げる部門を置く。

(1) 基礎教育部門

(2) 情報教育部門

2 部門に部門長を置き、本学の専任教員のうちからセンター長が指名する。

3 部門長は、所属する部門の業務を掌理するとともに、センター長の職務を補佐する。

4 その他部門に関し必要な事項は、センター長が別に定める。

(運営委員会)

第9条 センターに、センターの運営に関する事項を審議するため、高等教育推進センター運営委員会(以下「運営委員会」という。)を置く。

2 運営委員会は、[次の各号](#)に掲げる事項を審議する。

(1) センターの管理運営の基本方針に関する事項

(2) センターの業務に関する事項

(3) センターの予算・決算に関する事項

- (4) その他センターの運営に関し必要な事項
  - 3 運営委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。
    - (1) センター長
    - (2) 副センター長
    - (3) 部門長
    - (4) センター専任教員
    - (5) 兼務する教員のうち、センター長が必要と認める者
    - (6) 教務部長
    - (7) 教務部副部長
    - (8) その他運営委員会が必要と認める者
  - 4 運営委員会に委員長を置き、前項第1号の委員をもって充てる。
  - 5 委員長は、運営委員会を招集し、その議長となる。
  - 6 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代行する。
  - 7 運営委員会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。
  - 8 運営委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長が決する。
  - 9 運営委員会は、必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。  
(専門委員会)
- 第10条 運営委員会に、専門委員会を置くことができる。
- 2 専門委員会について必要な事項は、運営委員会が別に定める。  
(事務)
- 第11条 センターの事務は、高等教育推進課が処理する。  
(雑則)
- 第12条 この規程に定めるもののほか、センターに関し必要な事項は、センター長が別に定める。
- 附 則
- この規程は、令和3年4月1日から施行する。



## ■ IBU 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム

共通教育科目	配当セメスター	分類
情報処理演習I	1～2 (S/W)	選択必修科目
情報処理演習II	1～2 (W)	選択必修科目

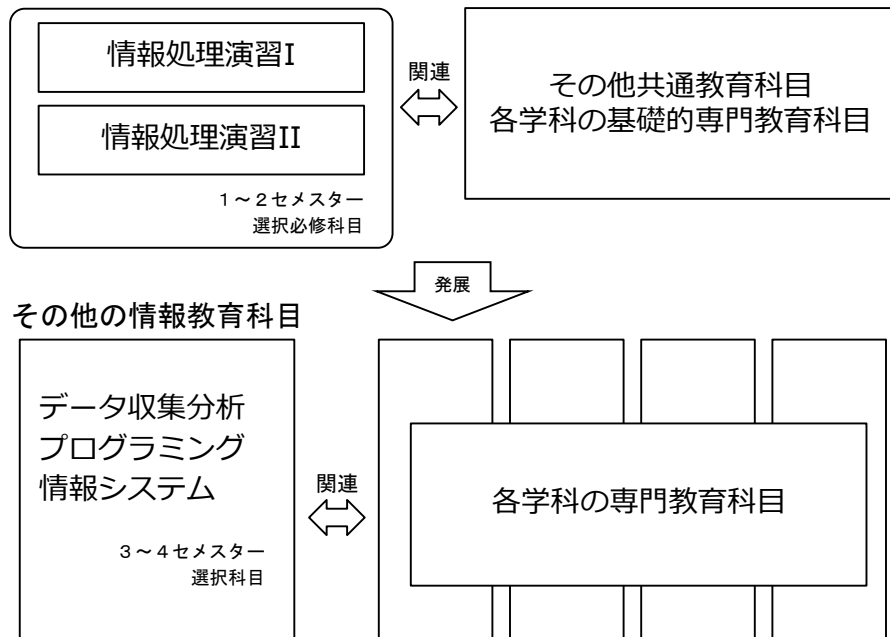
1年次配当科目「情報処理演習I」および「情報処理演習II」を『IBU 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム』と位置付けています。これらの科目では、本学が重要視している ICT やデータサイエンスを学ぶための基礎力とともに、多くの業種で必須となるツールを適切に活用する能力を身に付けます。この2科目は選択必修科目であり、どちらか一方の単位を修得することが卒業要件になりますが、両方を履修することでプログラム修了となります。

## ■ その他の情報教育科目

共通教育科目	配当セメスター	分類
データ収集分析	3～4 (W)	選択科目
プログラミング	3～4 (W)	選択科目（看護学部を除く）
情報システム	3～4 (W)	選択科目

「情報処理演習I」および「情報処理演習II」で学んだ基礎力を基に、2年次配当科目ではさらなる発展的な技能、知識を身に付ける科目も配置しています。

## IBU 数理・データサイエンス ・AI教育プログラム



「情報処理演習I」および「情報処理演習II」は、その他共通教育科目や各学部の基礎的専門教育科目で必要となる技能・知識を身に付ける重要な科目です。また、その他情報教育科目や各学部の専門教育科目は、これらの内容を発展させた形で実施されます。

これらの情報教育科目や情報技術を活用した専門教育科目を修めることにより、本学の学生は情報社会の中で活躍できる技術力・専門知識を培います。